



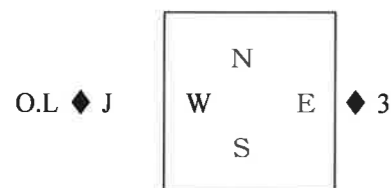
2018.9.21

数多くあるゲームの中で、ブリッジは世界的に見て非常に多くの著書が書かれている分野だと言われています。ここでその中から順に紹介してみたいと思います。

まず 1960 年に発行された Robert Darvas & Paul Lukacs による "Spotlight on Card Play" です。Robert Darvas はすでに故人ですがハンガリーでは戦前有名なプレイヤーでもあり、数多くのブリッジコラムを執筆していた人です。この本は 60 あまりのハンドを対話風に解説したもので、非常に興味深いハンドが並べられています。その中からひとつ。

♠ J1072
♥ 10652
♦ Q6542
♣ -

S は 6 N T をプレイしますが、オープニングリードは ♦ J で E からは ♦ 3 がフォローされます。本の中では対話がされます。



♠ AQ
♥ AKJ
♦ AK87
♣ AKJ10

■ダイヤモンドは何トリックとれますか？

□ 5 トリックですが ♦ 10 と ♦ 9 が見えません。もしそれを一人の人が持っているとする、S には ♦ 8 と ♦ 7 があるのでブロックしてしまいます。

■アンブロックする方法があるでしょうか？

□ あります。ダミーのスペードかハートをエスタブリッシュできたならばそれで ♦ 8 をディスカード出来ればアンブロックできます。

■それをどのようにしますか？

□ 明らかに ♠ A を取らないで ♠ Q をプレイします。これはダックされることはほとんど目に見えています。これを ♠ K で取ってくれば、♠ A をアンブロックしてから ♦ K も取って ♦ Q でダミーに渡し、♠ J でハンドの ♦ 8 をディスカードすればダミーの ♦ 65 も取れます。

■ ♠ Q が取れてしまったら、どうすればよいのでしょうか？

□ 今度は同じ理由で ♥ J を出して負けに行きます。もし ♥ J も取れてしまったら、ここまでにスペードで 2、ハートで 3 取れますからダイヤモンドは 4 トリックでよく、あとはクラブ 3 トリックでメークです。オーバートリックを狙って、♣ 10 をハンドから出してみます。これも取れてしまうかも知れません。

□ 実に奇妙なハンドです。スラムコントラクトなのに ♠ Q、♥ J、♣ 10 と 3 回もアンダーリードをするのが良いのです。

解説補足

なぜアンダーリードしなければいけないかというと、もしトップトリック、この場合は ♠ A ♥ AK を取ってしまったら負けに行くと、♠ K ♥ Q と 2 トリック取られてダウンしてしまいます。だからこれを防ぐためにストッパーを残しておかねばなりません。

もちろん ♠ Q ♥ J が取れてしまったら、♣ AK と取ってから ♣ J を負けに行っても 6 はできますが。

オーバートリックを狙って ♣ 10 を出して、もし取れたら、まだ 12 トリックですからオーバートリック、つまり 7 メークするには、ここでクラブ、ハート、スペードを全部取ってみます。そして最期にダイヤモンドを取りに行きます。うまくなっていればスクイーズで 7 メークします。例えば W がもともと ♠ Kx ♥ Qxxx ♦ J109 ♣ Qxxx や ♠ Kxx ♥ Qxxx ♦ J109 ♣ Qxx だったり、E が ♠ Kxxx ♥ Qxxx ♦ 3 ♣ Qxxx だったならば ♣ Q をダックしたときには 7 メークされてしまいます。